

肯定的な回答90%以上の項目

14	あなたは、「自分の身は自分で守る」ための行動をしていますか。	95.5%
20	「あけましておーきた」を守り、感染予防に気を付けていますか。	94.8%
10	あなたは、みんなで決めた目標や学校のきまり、交通ルールなどを守っていますか。	94.2%
2	あなたは、友達と話し合い、仲良く活動していますか。	94.1%
17	あなたは、友達のよいところを伝えたり、感謝の気持ちを言葉にしたりしていますか。	90.7%
8	あなたは、タブレットPCを使って楽しく勉強をしていますか。	90.3%

安全・安心な学校 項目14・20・10

毎月の避難訓練、安全指導について児童の発達段階に応じた安全教育の動画資料等を活用し、計画的に積み重ねの成果である。消防署や警察との連携や日頃の地域の青色パトロールカーや保護者の方々の見守りのおかげで児童の安全への意識が高い状態である。感染症対策では、学校医や学校薬剤師の御協力の下、保護者と徹底対策をしている大人の姿勢が児童の高い予防意識につながっている。

また、児童はクラスで決めた目標や学校で掲げる週の目標を守ろうとする自主性が育まれつつある。引き続き児童が安全に生活できるよう「なぜ、そのような行動が必要なのか。」について考えさせる指導を行い、「自分の身は自分で守る」そして「安心で楽しい学校を自ら創る」児童の育成に力を入れたい。

協働的な学びの態度の育成 項目2・17

本校が力を入れているキャリア教育の目標「考えや気持ちを聴く、伝える力」において、児童の実態や発達段階に応じた学年目標を定め、教育活動に取り組んできた。授業での意見交流の場面が増え、学級・学年の係や当番活動、委員会やけやき班活動、学校行事での責任をもって取り組んでいることへの感謝等を言葉で伝えるように指導している。家庭教育と連携し成果をあげていると捉えている。

児童一人に1台タブレットが配備され、約3年が経つ。児童は、タブレットPCの操作や授業中での有効的な活用法が身に付き学習に生かしている。タブレットPCを活用したドリルパークなど積極的に取り組んだ成果である。一昨年度はドローンを活用した授業開発をしたり、本年度は、生成AI(Chat GPT)や Canva の活用の仕方などを学んだり、未来を考えた教育活動を展開している。次年度も時代を見据え、情報モラル教育と並行してICT教育を推進し、子供たちに日常的に道具としての活動場面を精査し実施していく。

活動等の充実を図ったことにより友達を多面的に見てよさを伝え合う機会が増えたことも一因と考えられる。

・20は、感染状況が収束し、新型コロナウイルスが5類に移行したが、手洗いを指導したり、感染症が流行した際は、マスクを着用したりする児童もあり、感染予防の意識を高めている。

肯定的な意見が80%以上90%未満の項目

5	あなたは、相手の話を「目と耳と心」でしっかり聞こうとしていますか。	89.9%
7	学校の授業は楽しくわかりやすいですか。	89.9%
16	あなたは、友達や学校のみんなの役に立つことを考えたり、行動したりしていますか。	88.9%
11	先生方(心のふれあい相談員・スクールカウンセラー・生活支員・あおぞらルームも含む)は相談しやすいですか。	88.5%
13	あなたは、お家の人に学校での出来事や様子をよく話していますか。	87.3%
15	あなたは、すすんで運動したり、外で遊んだりしていますか。	87.0%
9	あなたは、早寝・早起き・朝ごはんを守って生活できていますか。	85.7%
12	あなたは、自分で学習計画を立て、宿題や家庭学習に取り組んでいますか。	85.7%
4	あなたは、すすんであいさつや返事をしていますか。	85.5%
1	学校は楽しいですか。	84.0%
3	あなたは、いろいろなことを笑顔で挑戦していますか。	84.0%
19	あなたは、夢や目標について考えたり、他の人と話したりしていますか。	83.9%

楽しい学校について 項目1 児童理解に努め、学校生活を楽しく安心して過ごすことができるように関わる

全ての人が自分ごととして教育活動を工夫していけるようにする。

豊かなコミュニケーション能力の育成 項目5・11・13・4・19

自分からすすんで挨拶や返事をする態度を育成するため、学期の始めの生活指導の月目標を4月「すすんであいさつをしよう」、9月「さわやかなあいさつをしよう」、1月「気持ちのよい生活をしよう」と学校全体で取り組んできた。高学年児童があいさつ運動を企画したり、特別の教科道德の授業などで挨拶の価値について考えたりしてきた。児童はあいさつや返事の大切さを認識し、実践することや相手意識をもち行動ができるようになってきた。

SOSを出せることも大事なコミュニケーションである。相談できる窓口を周知した。結果、悩み事や困ったことがあったら、相談をすることができるようになってきている。相談する児童と教職員の人間関係の構築をさらに行うようにし、安心して相談できる存在へとになっていくようにする。

生活習慣・学習習慣・運動習慣づくり 項目9・12・15

- ・9は、長期休業明けの「スッキリ生活」で生活習慣を身に付ける取組を継続した成果である。また、保護者の協力を得て生活習慣の向上を目指した成果である。心と体の健康の食育を通して次年度も充実させる。
- ・12は、家庭学習習慣促進旬間の取組で、自分で考え計画を立て、学習を進めていく児童が増えていることがうかがえる。自分で計画を立てて、学習を進める意識が高まっている。
- ・15は、体育の授業で体を動かすことの楽しさを味わわせるようにし、運動が好きな児童を増えている。体力テストなどを活用しパワーアップ旬間の内容の充実を図り、体力の向上を目指した。また、持久走やなわとびチャレンジ旬間など体育的活動の充実も図っている。引き続き、外遊びの推奨を校内全体で行っていく。

自己有用感の向上 項目16

昨年度より6.9pt増え、児童がよりよい学校にしていくためにできることを考え工夫して取り組む機会を設定し実施したことを、友達や教師だけでなく保護者や地域の方々にも価値づけていただいたお陰だと考える。

夢や目標をもつ挑戦意欲 項目3・19

学校全体で「めあてに向って主体的に学び、考える児童の育成」キャリア教育の視点を取り入れた学習を通して、自分の夢や目標を意識する機会が増え、挑戦意欲も高まっていることが考えられる。

肯定的な意見が80%未満の項目

令和4年12月との比較

6	あなたは、すすんで読書をしていますか。	79.3% (4.7pt↑)
18	あなたは、自信をもって自分のよいところを言えますか。	75.0% (12.3pt↑)

読書活動の充実 項目6

「すすんで読書している」については、学校司書教諭と学校図書館支援員による年間指導計画を確実に実施している成果が毎年上がってきている。年間2回の読書旬間には、大泉図書館との連携、お話の会、児童の図書委員会の活動や「校長先生による読み聴かせ」などの取組も引き続き実施し、内容を充実させていく。計画的に全校で実施することで、語彙力や読解力、想像力を伸ばし、「言葉の力」(=情報を正確に理解し上で相手の表現の意図や背景を推論し、根拠を挙げて自分の考えを述べ、話し合っって課題を解決する力)を身に付けさせていく。

児童が自分のよいところを見つけることにより自己肯定感を高めるため、キャリア教育の推進に力を入れている。特別の教科道徳や特別活動を要とし各教科領域等でキャリア目標を児童と教師が共有し学びを積み

自己肯定感の向上 項目18

昨年度より12.3pt 上がり75%自分のよいところを言えるようになり自信を付けている。学校では、児童が自分のよいところを見つけることにより自己肯定感を高めるため、キャリア教育の推進に力を入れている。特別の教科道徳や特別活動を要し各教科領域等でキャリア目標を児童と教師が共有し学びを積み重ねている。自己を振り返り、行事や学期ごとの「キャリア・パスポート」を活用した取組も実施している。今後も自分が成長した点、頑張った点を実感させるように、友達や教師、保護者、地域関係者から多角的に認められる場면을意図的に計画していく。そして、ウェルビーイング(=個人の権利や自己実現が保障され、身体的、精神的、社会的に良好な状態である「幸せ」)の向上につながるように次年度も児童に自分のよさを見付けられるように教育活動を工夫していく。 s